

論文作成に関する自己評価のためのルーブリック

タイトル					生徒氏名
					評価日
					評価者
評価の観点	評価の観点の説明	がんばろう	優秀までもう一歩	優秀	コメント
①文章の内容	何を問題として取り上げるか、なぜその問題を取り上げるのかを明確に示しているか	問題提起・目的を示していない	問題提起・目的を示しているが、複数示すなど、絞り切れていない	問題提起・目的がひとつに絞れている	
		なぜその問題を取り上げるのかという、問題の背景を示していない	問題とその背景に関連がない	問題とその背景に関連がある	
	文章において、何がもっとも言いたいことを明確に示している	自分の意見を提示していない	自分の意見を複数提示しているが、どれがもっとも述べたいことなのか分かりづらい	文章において何がもっとも言いたいことなのかを明確に示している	
		自分の意見について、他者の意見(文献)をそのまま提示している	自分の意見について、自らの体験や身の回りの出来事だけに基づくなど、他者の意見が欠けている箇所がある	自分の意見について自らの体験や身の回りの出来事の他に、他者の意見を参考に述べ、自分なりの解釈・説明を加えている	
②文章の形式	文章全体の構成が整っているか	文章全体の構成ができていない	序論・本論・結論(今後の展望を含む)に書くべき内容のいずれかが欠けている	序論・本論・結論(今後の展望を含む)に書くべき内容を提示している	
			序論で取り上げている問題に対する答えを結論に示していない	序論で取り上げている問題に対する答えを結論に示している	
③学術的な作法	引用のルールや図表の示し方など、学術的な文章として、適切な作法が守られている	満たしている項目が3項目以下	満たしている項目が5項目以下	すべての項目が満たされている	
④日本語の表現	日本語の文章として、表現、表記が適切である	満たしている項目が3項目以下	満たしている項目が5項目以下	すべての項目が満たされている	
⑤提出前のチェック	提出前に必ずチェックするもの	最後にもう一度、論文を読み直していない	最後にもう一度論文を途中まで読み直した	最後にもう一度論文を読み直した	
			もっとも言いたいこと(内容)と論文タイトルが合っていない	もっとも言いたいこと(内容)と論文タイトルが合っている	
			指定されたフォーマット(フォント・文字数・行数・余白)で書かれていない	指定されたフォーマット(フォント・文字数・行数・余白)で書かれている	
			目次のページ番号の縦列がずれている	目次のページ番号の縦列がずれていない	
⑥視点	テーマ設定の背景や論の展開に、読み手の興味をかきたてるような提案(視点)がある				

③学術的な作法

- 参考文献が正しく書けている(ガイド基礎編p35)
- 引用のルールは適切である(ガイド基礎編p36)
- 自分の意見と他者の意見がはっきりと区別できている
- グラフや表に見出しが付けられている(ガイド基礎編p33)
- 図表の中に凡例がある(ガイド基礎編p32)
- グラフや表を引用したものである場合、出典を明示している(ガイド基礎編p39)
- キーワードの定義が示されている

④日本語の表現

- 誤字脱字はない
- 文体は適切であり、統一されている(～である調)
- 話し言葉になっていない(ガイド発展編p24)
- 長すぎる文がない(ガイド基礎編p20)
- 文末表現は適切である(ガイド基礎編p22、ガイド発展編p26)
- 段落はじめは、一文字下げられている
- 何を指しているのかわからない指示語がない

《用語の説明》

文献とは:本、雑誌記事、論文、ネット情報など、公表された他者の意見を指す。ネット情報は、執筆者・機関・執筆年月日が明らかなものを用い、Wikipedia(孫引き)や、質問サイト(Yahoo! 知恵袋)などは用いないこと。

論理的とは:「なぜ、そう言えるのか」を示す事実や前提が、主張と根拠、原因と結果など、誰が見ても、同じように判断できる道筋・順序を経て明らかにされていて、読み手が「なるほど」と納得できること。

序論とは:自分がこれから何について書こうとしているのか、また、どうしてそれについて書こうと思ったのかについて示す部分。問題の提起や、問い、論点を示す。

本論とは:結論に至るまでの考えや、証拠となる他者の意見(文献)を示す部分。

結論とは:序論で示したテーマに対して、本論を通して述べたことを整理して、最終的にもう一度自分の言いたいことをまとめる部分。問題の解決や答えを示す。

今後の展望とは:この論文では書ききれなかったこと、調べられなかったことなどについて示す。

本ルーブリックは、2012(平成24)年度採択 文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング／キャリア支援」で作成されたものです